

評価基準（プロポーザル方式）

委託業務名：令和 7 年度佐賀県医療費等分析事業業務委託

評価項目	評価基準	配点	
1 基本的要件			45
業務目的等の理解度	・ 本事業の目的や内容について理解したうえで、実施内容や取組手法が提案されているか。	15	15
実施方法	・ 業務の性質上、委託者と協議を重ね試行錯誤が不可避であることをふまえた上で、 期限までの成果物提出に向けたスケジュールを想定しているか。	15	30
	・ 各種調整や打ち合わせ機会を十分に確保しているか。	15	
2 実施体制等の評価			75
実施主体の適格性	・ 疾病、県や市町が実施する保健事業に関する専門的知識・知見を持っているか。	15	30
	・ 有識者等から支援を受けて業務を遂行する体制が整っているか。	15	
実施体制	・ 事業目的達成のために必要な体制、及び人員は確保されているか。	10	20
	・ 医療費の高さ及び地域間格差の構造的要因の解明に適した大学等有識者（専門家）を体制に組み込んでいるか。	10	
個人情報保護	・ 業務で取り扱う情報や個人情報の取扱いに関する理解が十分で、情報漏洩等の事故を防止する体制があるか。	10	10
知見及び経験	・ 過去に、国や自治体の関係機関や民間企業で類似業務の実績があるか。	15	15
3 企画内容に対する評価			65
提案	・ 仕様書に記載の業務内容について全て提案されているか。	5	5
基本的な考え方	・ 仕様書 3 に記載している基本的な考え方と親和が図られた提案内容となっているか。	30	30
分析の手法	・ 業務内容に応じた有効な分析手法が取られているか。	20	20
その他	・ 提案された独自の提案は、現実的で本事業の成果を高めるために有効なものであるか。	10	10
4 価格点			15
経費の妥当性	・ 見積の算出や予算の配分は適切であり節減が図られているか。	15	15
	・ 見積内訳に不自然な項目は無いか。		
総合		200	

※最低基準点は、各審査員の評価の総計の合計点の 6 割（480 点）とする。